記者発表資料

平成２２年３月１０日
国土交通省東北地方整備局

平成21年度「手づくり郷土(ふるさと)賞」に飯坂温泉の地域づくり活動が選定されました

地域づくりに取組む活動団体等の創意・工夫による、優れた地域活動を表彰する「手づくり郷土賞」は、今年度で２４回目の開催となる国土交通大臣表彰制度です。（別添資料１参照）

今年度、東北地域からは**『歴史といで湯の”いいざか温泉”まちづくり活動』（飯坂町周辺地域づくり協議会）**が選定されました。

この取組みは、花の植栽から始まったまちづくり活動を通じて、「おもてなし」の気持ちが住民に拡がり、地道な活動の継続が魅力ある街並み景観を形成し、地域に賑わいを創出している点が高く評価されたものです。

また、今回の選定に伴う認定証伝達式を、**平成２２年３月２９日（月）に、受賞地域で開催します。**

東北地方での選定箇所

【一般部門】地域の魅力や個性を創出している、社会資本及びそれと関わりがある優れた地域活動が一体となった成果が対象。

応募件名	「歴史といで湯の”いいざか温泉”まちづくり活動（別添資料２参照）
応募団体	飯坂町周辺地域づくり協議会（会長　遠藤孝秀）

【認定証伝達式】

・日　時：平成２２年３月２９日（月）１０：３０～（３０分程度を予定）
・場　所：パルセいいざか（別添資料３参照）
・住　所：福島県福島市飯坂町字筑前２７番地の１

※国土交通本省においても同様に記者発表しております。
※伝達式終了後は飯坂温泉の現地視察（１時間程度）を予定しております。

発表記者会：宮城県政記者会・東北電力記者会・東北専門記者会
福島県政記者クラブ・福島市政記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省　東北地方整備局　　代表　０２２－２２５－２１７１
企画部　事業調整官　浜岡　正　（内線３１１６）
企画課長　依田　秀則　（内線３１５１）

資 料 1

平成２１年度「手づくり郷土(ふるさと)賞」の概要

手づくり郷土賞とは

「手づくり郷土賞」は、地域の魅力や個性を創出している、良質な社会資本及びそれと関わりを持つ優れた地域活動を一体の成果として発掘・評価し、「手づくり郷土賞」として表彰することにより、好事例を広く紹介し、地域の個性的で魅力ある郷土づくりに向けた取組に資することを目的として、昭和６１年度に創設された国土交通大臣表彰制度です。

『 部　門 』

『一般部門』：地域の魅力を創出している、社会資本及びそれと関わりがある優れた地域活動が一体となった成果が対象。

『大賞部門』：これまでに「手づくり郷土賞」を受賞した社会資本又は社会資本と関わりのある活動を含む成果が対象。

選定について

「手づくり郷土賞」は“手づくり郷土賞選定委員会”の審査を経て選定されております。

「手づくり郷土賞」選定委員会

委 員 長	西村　幸夫	東京大学教授
副委員長	酒井　孝	(社)雪センター理事長
委　　員	大村　哲夫	（財）港湾空間高度化環境研究センター理事長
	金安　岩男	慶應義塾大学教授
	田村　美幸	公共の色彩を考える会名誉会長
	中村　良夫	東京工業大学名誉教授
	藤吉　洋一郎	大妻女子大学教授
	藤原　まり子	博報堂生活総合研究所客員研究員
	増田　優一	国土交通省総合政策局長

平成21年度受賞件数

今年度は、**一般部門に１７件（東北１件）**、**大賞部門に２件**が選定されています。

※　過去の受賞案件については、東北地方整備局ホームページをご参照ください。

http://www.thr.mlit.go.jp/Bumon/B00097/K00360/tezukurifurusato/index.html

資 料 2

《一般部門》　飯坂町周辺地域づくり協議会

歴史といで湯の“いいざか温泉”まちづくり活動

飯坂温泉について

摺上川の流れを中央に６０軒もの旅館が立ち並ぶ飯坂地区は、元禄２年（１６８９年）に奥の細道の途中で俳聖・松尾芭蕉が湯につかったと伝えられる歴史ある歓楽温泉街であり、宮城県の秋保温泉、鳴子温泉とともに奥州三名湯のひとつに数えられています。温泉街には古くから地元客に親しまれている共同浴場や足湯が点在しており、湯めぐりが楽しめるほか、近郊には果樹園が数多くあり、四季を通じて果物王国福島の味覚を楽しむこともできます。

昭和の全盛期には年間約１７８万人もの観光客が訪れましたが、旅行ニーズの変化などにより、近年は１００万人を割っているのが現状であり、廃業する旅館も多く廃屋が目に付くようになりました。



土木遺産「十綱橋」越しに望む温泉街



飯坂温泉駅前の松尾芭蕉像



芭蕉が立ち寄った共同浴場「鯖湖湯」



夜にはライトアップされます



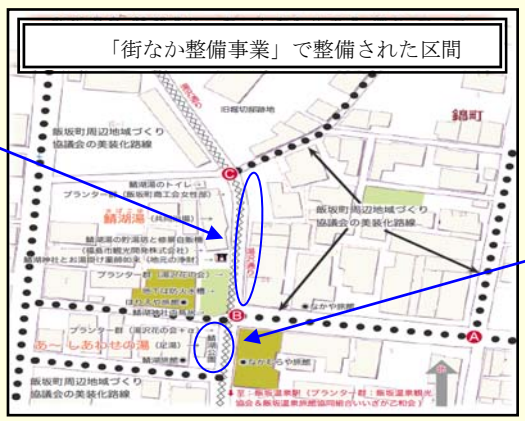
足湯「あ～しあわせの湯」

温泉街の整備

温泉街の衰退が続くなか、平成１４年度から福島市の「街なか整備事業」が行われ、ポケットパーク「鯖湖公園」の新設や、石畳風の道路の美装化、街灯の統一、電線の集合などが行われ、雑然とした温泉街の路地が、下駄の音が心地よく響く、そぞろ歩きに適した通りに生まれ変わりました。



きれいに舗装された通り





「鯖湖公園」と回りに設置された花壇
（花壇は協議会の手によるもの）

地域の活動について

「街なか整備事業」の実施を受け、温泉街の活力を取り戻すため、町内会や温泉旅館組合などで構成される「飯坂町周辺地域づくり協議会」では、「にぎわい」と「もてなし」のまちを目指し、整備された通りに花の植栽を行い、廃業した旅館の前に花壇やベンチを備えた「ひと休み処」を設け、地域住民と観光客の交流の場を提供し、賑わいを創出しています。

最初はわずか数人の有志から始まった花の植栽活動は、温泉街の衰退を嘆く地域住民に「地域で何とかしなければならない」という意識の変化をもたらし、一般の住民にとどまらず、旅館の女将さんたちを始めとする様々な職種の団体を巻き込んだ活動に拡がりました。また、定期的に配付している協議会ニュースを通じて、自宅や店舗を街並みに配慮した外観へ自主的に改装する人が増えてきているなど、地域一丸となったまちづくりに発展しています。





芭蕉像のまわりに花を植えています。悪天候でも中止することはありません。







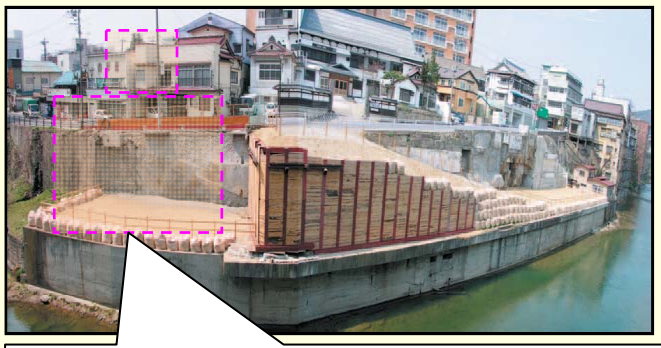
「おもてなし」の心に賛同した住民が、街並み景観に配慮して、自宅や店舗の改装を行っています。



廃業し放置された旅館の前に、許可を取って「ひと休み処」を設けています。

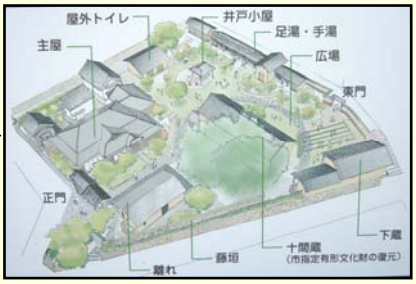
活動の拡がり

現在、展示施設や足湯などを備えた「旧堀切邸」や、公衆浴場を併設する親水公園などの新たな観光拠点の整備も進んでおり、温泉街の再生に向けた活動が続いています。





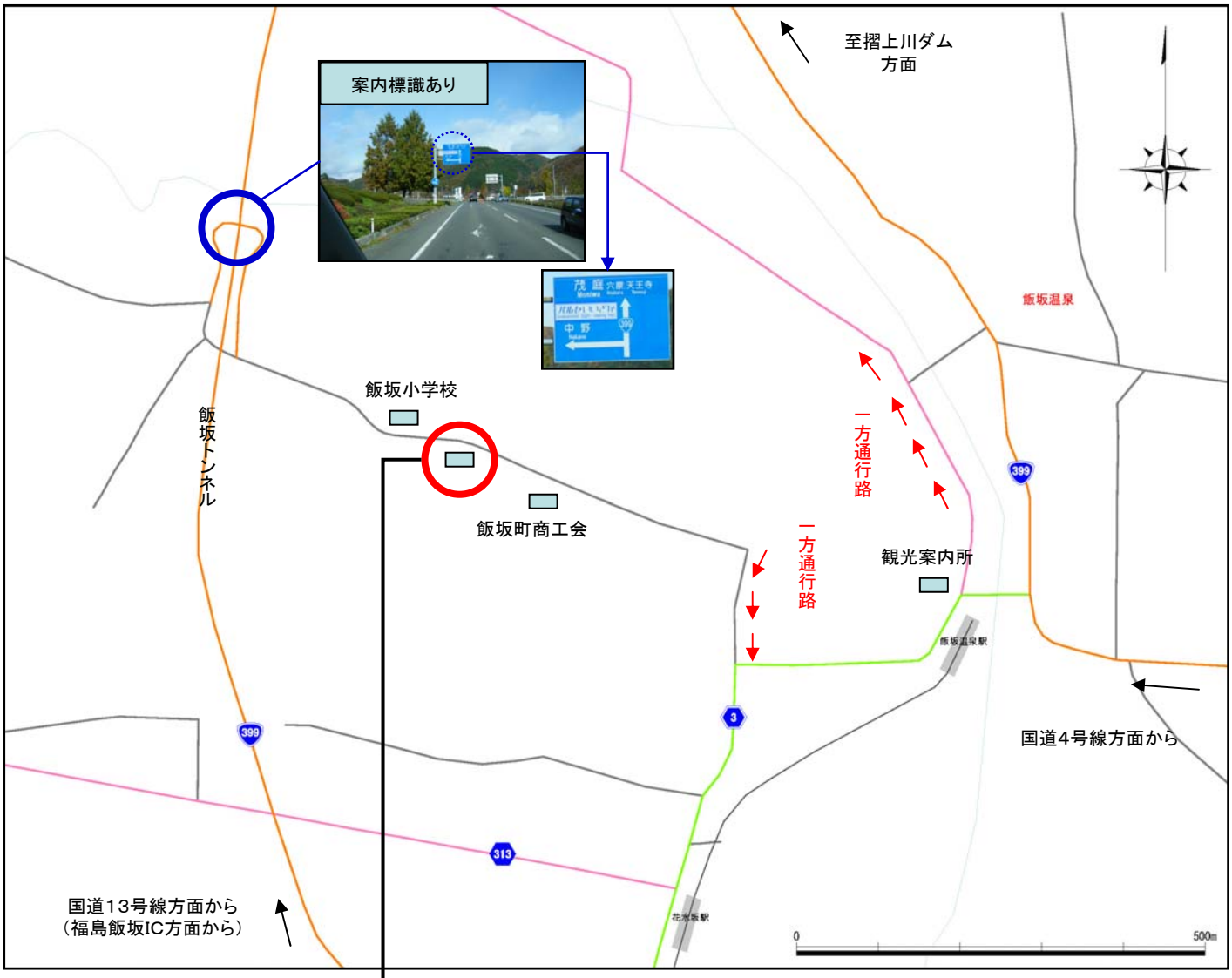
摺上川沿いの廃旅館跡地に、親水公園と新しい共同浴場「波来湯」の整備が進んでいます。（平成２３年１１月にオープン予定））



地元の名士である堀切家の邸宅が、足湯などを備えた観光交流拠点に生まれ変わります。（平成２２年５月にオープン予定）

資　料　３

認定証伝達式会場位置図



＜会場＞
パルセいいざか（福島市飯坂温泉観光会館）
福島県福島市飯坂町字筑前27番地の1
TEL024-542-2121
※東北自動車道福島飯坂ICより車で約10分
　駐車場有り（詳細は会場までお問い合わせください。）